令和９年度入学料徴収猶予申請の注意事項（学部留学生）

入学料徴収猶予は，下記Ⅰに該当する者を対象に，経済状況及び学業成績を一律の基準で審査し，どちらも基準を満たしている者が選考の対象となります。経済状況は本人からの申請に基づき審査を行いますが，申請者ごとの不均衡が生じないように各種の公的な証明書が必要となります。

なお，書類の不備や記載漏れ等がある場合には申請を受理しません。また，事実と反する記載があった場合には，徴収猶予となった後でもその決定を取り消すことがありますので注意してください。

Ⅰ　入学料徴収猶予の選考対象

次のア～ウに該当する特別な事情により，入学料の納入が著しく困難であると認められる者

ア　経済的理由によって納入期限までに納入が困難であり，かつ，学業優秀と認められる場合
イ　入学前１年以内において，入学する者の学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という。)が死亡し，又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合
ウ　入学する者が生活保護世帯に属し，又は学資負担者が重度の病気で長期療養中である等相当と認められる場合

＊東日本大震災等で被災した方については別途対応しますので，該当者は事前に担当まで申し出てください。

Ⅱ　徴収猶予の期限　　令和９年５月２５日（火）まで

Ⅲ　申請期間　　**入学手続き期間と同じとする　※期間中以外は徴収猶予申請を受理しません。**

（郵送可，期限必着）

申請が受理されない場合には入学料を納入することとなりますが，入学料は入学手続き期間内に納入しなければ入学手続き完了とならならず，「入学辞退」の取扱いとなりますので注意してください。また，猶予申請者が「入学手続き完了（猶予申請）後に入学を辞退」した場合は，「猶予申請を辞退」したものとみなされ，納入を猶予されていた入学料を納入することとなりますので注意してください。

Ⅳ　申請書類等

裏面記載の書類を一括して学生支援課学生支援係に提出してください。

Ⅴ　学業成績について

学業成績については，基準を満たしているものとみなします。

Ⅵ　徴収猶予者の決定

徴収猶予者の決定は令和９年４月下旬頃になります（文書で通知）。

徴収猶予者の決定までは入学料を納入しないでください。誤って納入した場合であっても入学料の返還はできません。また，徴収猶予申請は無効となりますので注意してください。

猶予が許可されなかった場合は，結果を通知した日（通知発送日）から14日以内に入学料を納入する必要があり，納入されなかった場合は，学則の定めにより「除籍」の対象となります。許可された場合で猶予期限までに納入されなかった場合も同様の取扱いとなります。

【個人情報の保護について】申請時に提出していただいた情報は，入学料徴収猶予の選考に利用するものです。その他の目的には利用・提供いたしません。

【問い合わせ先】

申請書類に関して不明な点又は家庭の特殊事情がある場合には，申請前にあらかじめ下記まで問い合わせてください。また，書類の提出後であっても家庭状況に変化があった場合は早急に連絡をしてください。

北見工業大学学生支援課学生支援係
〒０９０－８５０７　北見市公園町１６５番地
TEL　０１５７－２６－９１８３　　FAX　０１５７－２６－９１８５

申 請 書 類 等

1 申請者全員が必要とする書類

① 入学料免除等申請書 （本学所定用紙）	・「申請書の書き方」を参考にもれなく記入してください。 ・現在来日している家族についてもれなく記入してください（来日していない者については記入不要です。）。
② 外国人留学生入学料・授業料免除申請添付書類（本学所定用紙）	
③ 結果通知用封筒	長３型の封筒に本人の住所・氏名を記入すること。（返信用切手は不要）

2 過去１年間に以下に該当する場合に提出を必要とする書類（すべて写しで可）

① 学資負担者が死亡の場合	死亡日が確認できるもの
② 風水害等	被災証明書，被害額を証明するもの（原則として１年以内の被災）

入学料（※免除・徴収猶予）申請書

私費外国人留学生用

申請者

フリガナ / 氏名		※学科 プログラム 専攻	年	入学年度	令和　年度
				学籍番号	
アルファベット表記					

通学区分		前年度奨学金	
※自宅・自宅外		名称：	名称：
		(※貸与・給付)　年額　円	(※貸与・給付)　年額　円
		貸与又は受給期間：　年　月 ～　年　月	貸与又は受給期間：　年　月 ～　年　月

来日中の家族状況（同一生計の者について記入）

就学者以外

続柄	氏名	年齢	現在の職業（全て記入）	在職期間（全て記入）	勤務先（全て記入）	賞与
				年　ヶ月		有・無
				年　ヶ月		有・無

就学者（本人除く）

続柄	氏名	年齢	学校名	学年	通学区分	前年度の授業料免除状況（国立学校就学者のみ） 前期	後期
			※国・公・私　立		※ 自宅・自宅外	※ 全 半 無 免 免	※ 全 半 無 免 免
			※国・公・私　立		※ 自宅・自宅外	※ 全 半 無 免 免	※ 全 半 無 免 免
			※国・公・私　立		※ 自宅・自宅外	※ 全 半 無 免 免	※ 全 半 無 免 免

本人及び家族（就学者を除く）の収入状況

		本人	父	母				持家の有無
給与収入	給与・賃金・賞与・役員報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	有・無
	年金・恩給							
	失業給付金・生活保護ほか各種手当							
	その他（　）							
	小計							
	給与所得							
給与収入以外の所得	商・工・農・林・水産業							備考
	家賃・地代・利子・配当							
	援助・養育費							
	退職金・保険金・資産譲渡等の臨時的な所得							
	その他（　）							
	小計							
所得金額計								

判定（大学記入欄）

特別控除		(千	認定	(千円	免除結果
A	(1)母子・父子家庭		a 所得金額合計		□ 全額免除
	(2)就学者 (　)(小)(　)(中)(　)(高・高専)(　)(大)(　)(専修)		b 特別控除額		□ 半額免除
	(3)障害者・長期療養者		c 総所得金額（a－b）		
	(4)主たる家計支持者別居		d 収入基準額（　人）		
	(5)災害		e 家計評価額（c－d）		□ 免除不許可
	(6)父母以外の所得		家計評価額該当事項		
B	自宅・自宅外　２８０・７２０		免除該当・免除不可		□ 免除不可（家計・学業）
計					

申請理由	

特別控除関係	障害者	氏名（　　）手帳番号（　　）（　級）　障害年金受給 ※（有・無）
		氏名（　　）手帳番号（　　）（　級）　障害年金受給 ※（有・無）
	長期療養者	氏名（　　）　病名（　　）　※（入院 ・ 通院 ・ 自宅療養 期間（　年　月　日から現在まで）　1年間の療養費（　千円）
		氏名（　　）　病名（　　）　※（入院 ・ 通院 ・ 自宅療養 期間（　年　月　日から現在まで）　1年間の療養費（　千円）
	主たる家計支持者別居	氏名（　　）　1年間の住居・水道光熱費（　千円）
	災害関係	被災年月日（　年　月　日）　被災額（　千円） 内容（

1か月あたりの平均生活費	収入	家庭から	円	支出	修学費　円
		アルバイト（　）	円		家賃　円
		奨学金			食費　円
		（名称：　）	円		水道光熱費・通信費　円
		（名称：　）	円		その他　円
		その他から（　）	円		
		計	円		計　円

以上のとおり

令和　　年度入学料を［ ※免除 ・ 徴収猶予 ］してくださるよう、必要書類を添えて申請します。
なお、免除（徴収猶予）結果が決定するまでの間、入学料の納付を猶予してくださるよう併せてお願いします。

令和　　年　　月　　日

北見工業大学長　　殿

申請者［自署］	氏名	
	現住所	〒
	携帯電話等	（　）

枠内に記入し、※印のところは該当するものを○で囲むこと。

〈個人情報の利用目的〉ご記入いただいた情報は、入学料免除の選考に利用するものです。その他の目的には利用提供いたしませ

外国人留学生入学料・授業料免除申請添付書類

学　科
プログラム
国　籍　　専　攻　　第　　学年

氏名（自署）

1．本人及び配偶者の収入

(1) 本国からの援助、仕送り

	援助者の氏名	関　係	援　助　額（年額）
本人 { 有・無 }			円
			円
配偶者 { 有・無 }			円
			円

(2) 奨　学　金

	団　体　名	支　給　期　間	支給額（年額）
本　人 前年度{ 有・無 } 今年度{ 有・無 }		年　月　日～　年　月　日	円
		年　月　日～　年　月　日	円
		年　月　日～　年　月　日	円
配偶者 前年度{ 有・無 } 今年度{ 有・無 }		年　月　日～　年　月　日	円
		年　月　日～　年　月　日	円
		年　月　日～　年　月　日	円

◎一括支給される奨学金も含みます。

例）＊北見工業大学学術振興･国際交流基金私費外国人留学生受入援助奨学金

＊北見市外国人留学生修学支援金

(3) アルバイト、その他の収入　　本人{ 有 ・ 無 }、配偶者{ 有 ・ 無 }

アルバイト収入がある場合は、源泉徴収票（雇用主発行）のコピーを添付してください。アルバイト期間が１年に満たない場合は直近３か月分の給与明細の写し又は、裏面の給与支払（見込）証明書を提出してください。

また、源泉徴収票がない場合についても、裏面の給与支給証明書に雇用主の証明を受けて提出してください（２か所以上の証明が必要な場合はコピーして使用してください）。

なお、その他の収入がある場合は、金額記載のその援助者（団体）の申立書又は、証明書を添付すること。

2．個別担任・指導教員等の所見（家計、就学状況から免除が必要と認められる所見）※新入生は不要です。

個別担任
指導教員等　　職　名　　氏名（自署）

給与支払（見込）証明書

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

１．就職年月日

＿＿＿＿＿＿年＿＿＿＿月＿＿＿＿日

２．職　種　※該当するものに○印

正社員　・　その他（　　）

３．給　与　※1 年間の支給額（交通費を除く税込み額）について記入してください。

※勤務期間が１年未満の場合は、満たない分について見込額を記入してください。

支払年月	支払（見込）額	支払年月	支払（見込）額
年　月	円	年　月	円
年　月	円	年　月	円
年　月	円	年　月	円
年　月	円	年　月	円
年　月	円	年　月	円
年　月	円	年　月	円
合　計			円

４．賞　与　※該当するものに○印

有（下記に金額を記入）　・　無

賞　与（春）	円
賞　与（夏）	円
賞　与（冬）	円

上記のとおり支払った（見込みである）ことを証明します。

令和　　年　　月　　日

所　在　地＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

給与支払者

（会社名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

申請書の書き方

1．申請時（前期分は４月１日、後期分は10月１日）現在で事実をありのままに、わかりやすく記入してください。記入すべきことが書かれていないとき、判読しにくいなど申請書に不備があるときは免除選考の対象から除外します。また、内容が故意に事実と相違して記入してある場合は、免除選考決定後でも決定を取り消します。
2．申請者は［　］枠内に記入し、※印のところは該当するものを〇で囲んでください。
3．記入の際は、ペン又はボールペンを使用してください。訂正時には、訂正箇所を二重線で削除し（訂正印不要）、余白に正しい事項を記入してください。修正液は使わないでください。申請書裏面の連帯保証人欄以外はすべて学生本人が記入してください。
4．記入欄が足りない場合は、適宜、欄を分けて記入してください。

【申請者欄の記入】

1．「前年度奨学金」欄について、学部一年次は記入不要です。
2．「学籍番号」欄について、新入生で学籍番号が未定の場合は記入不要です。

【家族状況欄の記入】

「家族」は同居・別居を問わず申請者と生計を一にする者全員を記入してください。生計を一にしない（独立生計の）兄弟姉妹や祖父母等の記入は不要です。

〇就学者を除く家族
・「現在の職業」は、会社員、公務員、自営業、農業、教員、アルバイト・パート等、職業名を記入してください。

〇就学者
・「就学者」とは次に在学する者です。
小・中・高校・高専
大学（大学院・専攻科・別科を含む。放送大学については、全科履修生・特修生に限る。）
盲・ろう・養護学校
専修学校（高等課程・専門課程）
（注）上記以外の専門学校一般課程及び各種学校等（予備校・職業訓練校・その他）に在学する人は、「就学者を除く家族」に記入してください。
・「前年度の授業料免除状況」欄は、国立学校（大学、高等専門学校）就学者について記入してください。

表面

記入例（免除申請の場合）

一般学生用

授業料（※免除・徴収猶予・月割分納）申請書

申請者	氏名	キタミ　タロウ 北見　太郎	地球環境工 ※学科・プログラム・専攻	3年	入学年度 令和6年度
					学籍番号 3242100000
通学区分	※自宅・自宅外				
前年度奨学金	①日本学生支援機構奨学金 給付・一種・二種（該当する奨学金すべてに〇印）（給付奨学金は前年度に限らず現在受給中であれば〇印） 年額 612,000円		②左記以外の奨学金（名称：　　） （※貸与・給付） 年額　　円		

家族状況（同一生計）主たる家計支持者に〇印×印

就学者を除く家族

続柄	氏名	年齢	現在の職業（全て記入）	在職期間（全て記入）	勤務先（全て記入）	賞与
父				年　ヶ月		有・無
母	北見　花子	47	自営業 パート	10年2ヶ月 3ヶ月11	○○○美容室 ○○○スーパー	有・無
祖父	北見　工一郎	75	農業	40年6ヶ月	自宅（年金受給者）	有・無
祖母	北見　雪子	73	無職	年　ヶ月	（年金受給者）	有・無
				年　ヶ月		有・無

（父又は母 死亡・生別の場合）その年月（　年　月）※理由（死別・離婚・行方不明・その他（　））
※遺族年金（有・無）　児童扶養手当（有・無）　養育費（有・無）

就学者（本人除く）

続柄	氏名	年齢	学校名	学年	通学区分	前年度の授業料免除状況（国立学校就学者のみ） 前期	後期
兄	北見　一郎	22	国立　〇〇大学		※自宅・自宅外	※無 全免 半免	※無 全免 半免
弟	北見　次郎	17	道立　〇〇高校		※自宅 自宅外	※無 全免 半免	※無 全免 半免
			立		※自宅・自宅外	※無 全免 半免	※無 全免 半免

本人及び家族（就学者を除く）の収入状況

		本人	父	母	祖父	祖母		持家の有無
給与収入	給与・賃金・賞与・役員報酬	120千円	千円	1000千円	千円	千円	千円	有・無
	年金・恩給				639	788		
	失業給付金・生活保護ほか各種手当							
	その他（　）			493				
	小計	120		1493	639	788		
	給与所得							
給与収入以外の所得	商・工・農・林・水産業			120	162			備考
	家賃・地代・利子・配当							
	援助・養育費			360				360は養育費
	退職金・保険金・資産譲渡等の臨時的な所得							
	その他（　）							
	小計			480	162			
所得金額計								

判定（大学記入欄）

	特別控除（千円）		認定（千円）	免除結果
A	(1)母子・父子家庭		a 所得金額合計	□全額免除
	(2)就学者		b 特別控除額	□半額免除
	（小）（中）（高・高専）（大）（専修）		c 総所得金額（a－b）	□免除不許可
	(3)障害者・長期療養者		d 収入基準額（人全額）	□免除不可
	(4)主たる家計支持者別居		e 家計評価額（c－d）	（家計・学業）
	(5)災害		f 収入基準額（人半額）	徴収猶予等結果
	(6)父母以外の所得		g 家計評価額（c－f）	□徴収猶予許可
B	自宅・自宅外	280・720	家計評価額該当事項	□徴収猶予不許可
計			全額免除・半額免除・免除不可	□月割分納許可 □月割分納不許可

……「収入状況」欄の記入上の注意……

1．令和８年１月～令和８年12月までの収入金額及び所得金額をすべて記入してください。（千円未満切り捨て）
2．同一人で２種以上の所得があるときは、区分して記入してください。
3．令和８年１月以降に就職・転職（開業等を含む）、又は雇用形態が変更（正規→非正規等）した場合は、上記１によらず、申請時現在の月収、賞与などを考慮のうえ、年間所得金額に見合った額を推算のうえ記入してください。

給与収入

1．給与収入は「源泉徴収票」の支払金額を記入してください。
2．年金については公的年金の源泉徴収票・年金振込通知書等の支払金額（介護保険料、後期高齢者医療制度の保険料額等を差引する前の金額）を記入してください。
3．同一人で２種以上の給与収入があるものは収入金額を合計したあと、千円未満を切り捨てて記入してください。

給与収入以外の所得

1．収入（売上）金額から必要経費を控除した所得金額を記入してください（マイナスとなる場合はゼロ「0」と記入）。なお、青色申告を行っている場合は、青色申告特別控除前の所得金額を記入してください。
2．商・工業所得は、個人事業主の場合に記入してください。
3．退職金、保険金、資産譲渡等の臨時的な所得は、申請前６ヶ月間（入学料免除に関しては１年間）のものを記入してください。
［前期］前年10月～今年３月、［後期］今年４月～９月

裏面

記入例（免除申請の場合）

申請理由	申請に至った家庭事情及びその他特に説明を要することを具体的に記入すること。	
	〈主たる家計支持者無職・失職の場合〉その年月（　　年　　月）　生活費の出所（　　） ※就業見込（ 有 ・ 無 ）	
特別控除関係	障害者	氏名（ 北見　雪子 ）手帳番号（０１２３４５６）（ ２ 級）　障害年金受給 ※（有・無）
		氏名（　　）手帳番号（　　）（　　級）　障害年金受給 ※（有・無）
	長期療養者	氏名（　　）病名（　　）※（ 入院 ・ 通院 ・ 自宅療養 ） 期間（　　年　　月　　日から現在まで）　１年間の療養費（　　千円）
		氏名（　　）病名（　　）※（ 入院 ・ 通院 ・ 自宅療養 ） 期間（　　年　　月　　日から現在まで）　１年間の療養費（　　千円）
	主たる家計支持者別居	氏名（　　）　１年間の住居・水道光熱費（　　千円）
	災害関係	被災年月日（　　年　　月　　日）　被災額（　　千円） 内容（　　）

1か月あたりの平均生活費				
収入	家庭から	４０，０００円	支出	修学費　１０，０００円
	アルバイト（　　）	１０，０００円		家賃　４０，０００円
	奨学金			食費　２０，０００円
	日本学生支援機構	５０，０００円		水道光熱費・通信費　２０，０００円
	その他（名称：　　）	円		その他　１０，０００円
	その他から（　　）	円		
	計	１００，０００円		計　１００，０００円

学業	① 前年度までの修得単位数（　６５　単位）　②[学部4年次のみ]卒業研究（ ※着手・未着 ） ＊新入生は記入不要。ただし，学部1年次が後期に申請する場合は前期の修得単位を記入

以上のとおり

令和　8　年度前期分授業料を［ 免除 ・ 徴収猶予 ・ 月割分納 ］してくださるよう連帯保証人連署のうえ、必要書類を添えて申請します。
また、免除（徴収猶予・月割分納）結果が決定するまでの間、授業料の納入を猶予してくださるよう併せてお願いします。

令和 ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日

北見工業大学長　　殿

申請者［自署］	氏名	北見　太郎
	現住所	〒０９０－○○○○ 北見市○○町○○－○○
	携帯電話等	０９０（○○○○）○○○○
連帯保証人（父母等）［自署］	氏名	北見　花子
	現住所	〒１２３－○○○○ ○○市○○町○○番地
	電話番号	０９０（○○○○）○○○○

枠内に記入し、※印のところは該当するものを○で囲むこと。

〈個人情報の利用目的〉ご記入いただいた情報は、授業料免除の選考に利用するものです。その他の目的には利用提供いたしませ

申請に至った家庭事情、経緯について具体的に記入してください。(経済的な収入が無い、又はごくわずかな場合の生活の方法、就学者以外の兄弟等が無職の場合その理由等)申請書の他の欄で記載できなかったことを記入してください。

【１か月あたりの平均生活費】
※学費(入学料・授業料)は除く
ア．最近の平均（新入生は見込）で記入してください。
イ．収入のうち一部を授業料等のため積立てているときは、支出欄の「修学費」に記入してください。
ウ．自宅通学者の食費・住居費は記入しないでください。ただし、昼食はその月額をその他に記入してください。自宅外通学者で食費、住居費を一括して下宿代として納めている場合は（　　）書きで家賃に記入してください。
エ．収入金額の合計と支出金額の合計は同額にしてください。

申請日を記入

連帯保証人が記入
※連帯保証人欄以外は申請者本人が記入

＊返信用封筒(切手不要)には必ず連帯保証人(父母等)の住所・氏名を記入して提出すること。
郵便番号も忘れずに記入してください。
(留学生については本人の住所・氏名を記入してください。)

左余白に学籍番号・氏名を記入して下さい。

封筒［長型3号］

123-0000

連帯保証人住所氏名
○○市○○町○○番地
北見花子
殿

3242100000
北見太郎

私費外国人留学生及び社会人学生は、申請書の様式が若干異なっていますので、記入の際、不明な点がある場合は、担当へ問い合わせてください。

［担当］北見工業大学学生支援課
学生支援係
〒090-8507 北見市公園町165番地
Tel:0157-26-9183　Fax:0157-26-9185